

Onyx extravasation を認めた脳動静脈奇形 2 例の検討

富尾 亮介¹⁾ 植杉 剛²⁾ 赤路 和則¹⁾

1) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳神経外科

2) 公益財団法人脳血管研究所 附属美原記念病院 脳卒中部門

[緒言] Onyx による脳動静脈奇形 (AVM) 塞栓は 2008 年に本邦で薬事承認を受け、知見が積み上げられている。Onyx による経動脈的塞栓 (TAE) の際には稀に Onyx の脈管外への溢出が認められる。しかしながら、Onyx extravasation についての報告は少ない。今回当院での AVM の TAE 中に Onyx extravasation を認めた 2 例について検討を行った。

[症例] 症例 1: 50 歳男性、症候性てんかんで救急搬送され右前頭葉脳出血の診断。右前頭葉 AVM を疑う所見を認め、入院当日に脳血管撮影 (DSA) を施行、Spetzler-Martin 分類 grade 1 だった。入院翌日に flow reduction を意図して右中大脳動脈 (MCA) からの main feeder を NBCA で塞栓した。発症 2 週間後に摘出前塞栓として Onyx 18 による TAE を 2nd proper feeder から行った。塞栓早期から Onyx の extravasation を認めた。Total 1cc の Onyx を注入し、AVM は消失した。塞栓直後の開頭術中の所見で血腫腔内に extravasation した Onyx を認めた。新規の出血は認めなかった。AVM は全摘出され、特に術後神経脱落症状を認めなかった。症例 2: 78 歳男性、2015 年 3 月に偶発的に発見された右前頭葉 AVM に対してガンマナイフ治療を行われた。フォロー中、2019 年 3 月の頭部 MRA で AVM nidus 縮小を認めず、一方で nidus 後方の無症候性出血を認めたため、根治的治療を予定した。Spetzler-Martin 分類 grade 1 だった。3 本の feeder から Onyx 18 で塞栓を行った。3 本目の feeder からの Onyx 塞栓時、nidus 全体が塞栓され drainer の一部に Onyx が流入した。この時点の造影で AVM は消失し、直後に Onyx の extravasation を認め塞栓を終了した。Total 0.86cc の注入となった。術後 CT で出血なく、全身麻酔鎮静を継続し翌朝に摘出術を行った。摘出の際、塞栓された AVM の近傍に脳内血腫を認めた。Extravasation した Onyx は血腫内に認められた。血腫は premotor area に認められ、術後片麻痺が生じたが 1 か月の経過で麻痺は寛解し独歩退院となった。

[結語] Onyx extravasation を認めた 2 例を経験し、うち 1 例では塞栓後遅発性の出血を来した。